

④ 旧官立弘前高等学校創立 70 周年記念碑「弘高生青春之像」



現在、大学事務局、保健管理センター、創立 50 周年記念会館、附属図書館、教育学部、総合教育棟、人文社会科学部、第一体育館、大学会館のある敷地には、大正 10 年（1921）4 月に開校した官立弘前高等学校がありました。

この記念像は、平成元年（1989）8 月、旧制弘前高等学校同窓会が母校創立 70 周年を記念して建てたものです。台座中央には「弘高生青春之像」と刻まれ、その上に白線二本に大鵬の徽章の学帽をかぶりマントをもった学生服姿と、下駄をはいた袴姿の旧制弘高生 2 名が並んで遠くを臨む像が立っています。台座の左面には校歌 1 番の歌詞、右面には彫刻家高橋 剛（恩賜賞、日本芸術院賞受賞者）にこの像の制作を依頼するに至った小野正文先生の撰文が刻まれています。

小野先生は、旧制弘前高校の卒業生で、太宰治とは学校の後輩として長く交友がありました。平成 17 年（2005）、長年わたる太宰治研究を評価され、弘前大学から名誉博士号が授与されました。

〔引用文献〕

1. 旧制弘前高等学校同窓会（編）（2005）．旧制弘前高等学校史, 220.
2. 本間正行（2004）．学園だより キャンパス散策「弘前大学構内の記念碑」, 142, 34.
3. 工藤睦男（2005）．弘前大学同窓会報 弘大「石碑を訪ねる」, 6, 6.

（右面の撰文）

我等若き日に官立弘前高等学校に遊べるは如何なる星の下なりしや
この校庭より岩木山に向いて目を挙げしは恰も昨日の如し
修め得し学は浅かりしが温めし友情は深し
互に肩を組み寮歌を吟じ高らかに青春を謳えり
星霜ここに七十年
共に倚りし学窓はあるなし
風雪に耐え来し樹影また幾何ぞ
彫刻家高橋剛先生に嘱し故旧忘れ難き我等の回顧を不朽ならしめんと欲す
弘前大学に学ぶ若きらよ
それこれを許せ
撰文 小野 正文

（左面の校歌 1 番の歌詞）

虚空に羽ばたき南を図る
大鵬われらの徽章をかざす
紅顔抱かん理想の高き
譬か岩木の偉大の姿